平成29年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	子育て支援課	事業No.	110
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始	H19	終了	

事務事業名	重症心身障害児通園事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域福祉計画
	法令・例規等			児童福祉法
				障がい者総合支援法

事業目的		
	対象	重症心身障害児とその保護者
	意図	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援します。

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	個々に対する必要な支援を十分把握し、リハビリや研修会で得た専門的な知識や技術を、生活の場でフルに活かし繰り返し実践しました。 医療機関との連携・相談が必須であると感じました。 保護者の思いを傾聴し個々の成長を促すとともに、通所する意義を感じられるよう、専門的な療育を提供することを心がけ実践しました。	臨時職員賃金	7,789
		光熱水費	1,150
		その他の経費	770

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績
	登録者数	人	5	7			
	延べ利用人数	人	187	243			
	１日当たりの平均利用者数	人	1	1			

29年度決算(千円)				特定財源内訳及び補足事項
	予算額		10,828	
	決算額		9,709	（そ）児童発達支援給付費負担金　4,736千円
	財源の状況	国庫支出金	0	（そ）諸収入　1,070千円
		県支出金	0	
		地方債	0	
		その他	5,806	
		一般財源	3,903	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	14	1	10,828	9,709	重症心身障害児通園事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振返り課題認識	保護者の職員に対する専門的な指導の要望が高まり、より細やかな支援内容の充実を図りたいと思いました。また重篤なケースも増えており、医療機関とのスムーズな連携が求められていると感じました。
上記の課題解決のための有効策	職員の資質向上を図るため、研修の場を確保し繰り返し実践していきます。
次年度に向けての取り組み	登園が難しい児童について、居宅訪問型事業を参考に訪問療育を増やし、多職種で協力して支援内容の充実を図ります。